

新しい元号は「令和」

5月1日に皇太子殿下が新天皇にご即位されました。これにより、平成の時代が終わり、元号が令和へと変わりました。令和は、日本最古の歌集である万葉集にある「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫す」から引用されたものです。元号が新しくなり令和元年となったところで、高萩市の平成元年を当時の写真とともに振り返ってみました。

高萩市の平成元年にあった主な出来事

1月25日 穂積家住宅が県の文化財に指定される



各催しで賑わう穂積家住宅

4月27日 山形県新庄市と友好都市の盟約調印



両市の市長と議長が調印

記念祝賀会では両市の舞踊団体のみなさんがお祝いの踊りを披露

10月29日 皇太子殿下(当時)が茨城県地方事情御視察の一つとして森林公園を御視察



鈴木藤太市長(当時)から説明をお受けになる皇太子時代の天皇陛下



沿道や高萩駅周辺にはたくさんの人垣ができ、日の丸の小旗を振って歓迎



高萩駅から特急ひたちで御帰路に就かれる

11月22日 市政施行35周年記念式典の開催



式典の様子

万葉集との結びつき

「遠妻し 高にありせば知らずとも

手綱の浜の 尋ね来なまし」

奈良時代に編纂された日本最古の歌集「万葉集」の中にあり、ささき浜周辺と伝えられる「手綱の浜」を詠んだこの歌と、645年の「大化」以来、248番目となる元号にして初めて万葉集から引用された「令和」。万葉集によって結びつく「令和」は、高萩市の歴史とつながりを感じさせる希望に満ち溢れた元号といえるのではないのでしょうか。



万葉の道



ささき浜